
赤 潮 情 報（定期赤潮調査結果）

鹿児島県水産技術開発センター
平成 21 年 6 月 17 日

八代海赤潮情報No.2

[1] 6月16日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

全調査点において着色域は確認されませんでした。

脇崎沖以外はプランクトンが少なく、キートセラス属等の珪藻類が少ない状況でした。

有害種については、桂島西側定点の5m層で、コクロディニウム ポリクリコイデスが2cells/ml確認されました。

(2) 海 況

表層水温は八代海全域で21.7～23.2℃で同年同時期より0.6℃低め、塩分は33.3～33.8で同年同時期よりやや高め、透明度は同年同時期より高めとなっています。

水 温（表層）：平均 22.5℃ (23.2℃)
塩 分（表層）：平均 33.5 (31.9)
透明度 ：平均 11.6m (8.8m)

()はH元～H20年6月の平均値（同平年値）

[2] 今後の赤潮発生の予想

調査点のうち、脇崎沖は珪藻類が多かったのですが、それ以外は全体的に透明度が高くプランクトン総数が少なく、また珪藻類も少ない状況でした。

今回、有害種のコクロディニウムが2cells/ml確認されました。現在水温は同年よりやや低めですが、今後水温上昇とともに、本種の増殖に注意が必要です。

今後とも、定期的な検鏡等により十分な監視を行って下さい。

次回調査は6月30日の予定。



※ () 内数字は、コクロディニウム ポリクリコイデスの細胞数 (5m層) (cells/ml)

赤潮情報(携帯用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>
赤潮図鑑(パソコン用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>